



地震の知識を身につけよう

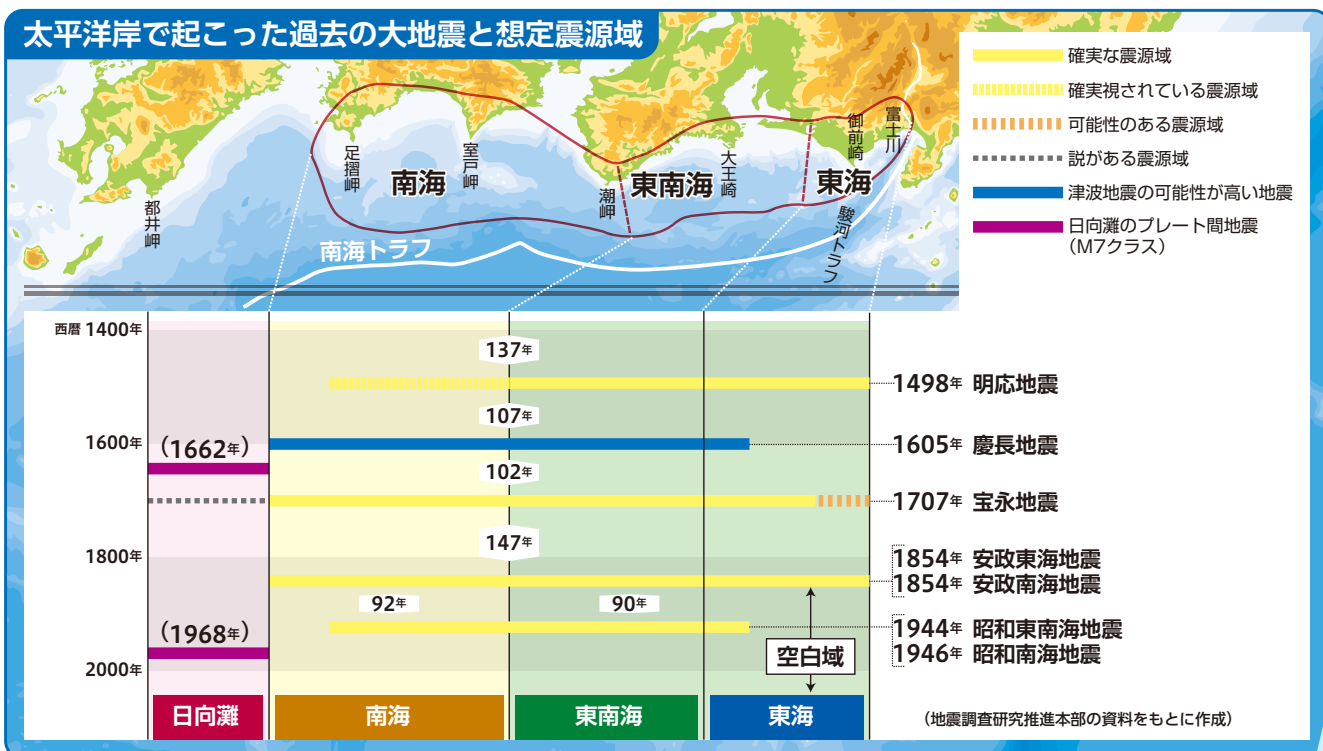
知っておこう!

参照 磐田市震度分布マップ

繰り返し起こる大地震

日本列島の太平洋岸では、プレートの潜り込みによる地震が繰り返し起こっています。フィリピン海プレートが潜り込む東海から四国にかけての海域では、概ね100年から150年の周期で、ほぼ同じ場所で、ほぼ同じ規模の大地震が繰り返し起こっています。

駿河湾から御前崎沖では、安政東海地震以降いまだ大地震が発生しておらず、地震のエネルギーが蓄積されていると考えられており、近い将来、大地震の発生が予想されています。



地震編

南海トラフ地震臨時情報ってなに?

南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。国や市などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとりましょう。

情報の種類	発表条件	住民のとるべき行動
調査中	●南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合等	●今後の情報に注意しましょう。
巨大地震警戒	●南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において、マグニチュード (M) 8.0以上の地震が発生したと評価した場合	M8.0以上の地震発生後に隣接領域で1週間以内にM8クラス以上の地震が発生する頻度は十数回に1回程度とされています。 ●日頃からの地震への備えを再確認しましょう。 ●地震発生後では津波からの避難が間に合わない地域では、1週間、安全な場所に事前避難しましょう。
巨大地震注意	●南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界において、M7.0以上、M8.0未満の地震が発生したと評価した場合 ●想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側50km程度までの範囲でM7.0以上の地震が発生したと評価した場合 ●短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合	M7.0以上の地震発生後に同じ領域で1週間以内にM8クラス以上の地震が発生する頻度は数百回に1度程度とされています。 ●日頃からの地震への備えを再確認しましょう。
調査終了	●巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合	●通常の生活。ただし、大規模地震の発生危険がなくなったわけではないことに留意しましょう。